



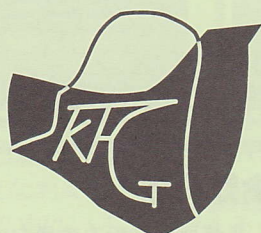
黄河の森

K F G

発行／特定非営利活動法人
黄河の森緑化ネットワーク
常務理事・事務局長／矢野正行
編集責任者／小川良太
〒650-0011
神戸市中央区下山手通2-13-7
東昌ビル7F 華僑総会内
TEL・FAX:078-392-8328
E-mail:kouganomori@s6.dion.ne.jp
URL:<http://www.kobe-chinese.com/kouganomori>
IP:05031111874



「スタッフと右端はオトカ前旗との橋渡しのウリト氏」



ああ あの大河 太古より 流れる誇り
ああ その緑 永久に たやさぬ心
燃えたつ生命 ここに ここに

CONTENTS

- P.2 事務局からの報告
「2021年度の活動状況 - 22年も難問山積」
事務局からのお知らせ
- P.3 庭木の健康診断 26
絵本からのメッセージ 33
- P.4 中国便り「杭州市での医療研修」

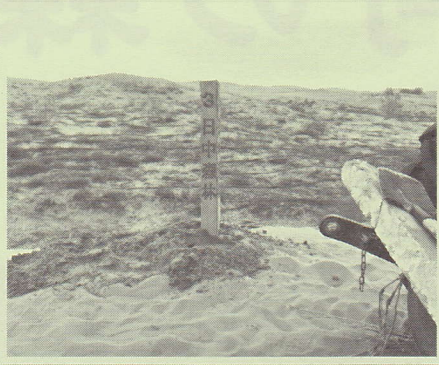
事務局からの
報告

2021年の活動状況 — 22年も難問山積

2022年もコロナ禍の中で新年を迎えましたが、会員の皆さんもコロナには壁壁しておられることと思います。新年早々南太平洋での火山の大規模噴火・昨年来の鹿児島沖での火山噴出による軽石漂着問題、コロナ禍騒動の中で隠れた感のある地震への警戒など、今年も自然災害の頻発が予想される幕開けでした。

『黄河の森緑化ネットワーク』では昨年も通常活動が行えず、国内外で植樹した木々の生育状況が大変気になっているところです。しかしグループ活動がままならない現状では如何ともし難く、早くコロナ禍が収まり活動が再開できることを願っているところです。

昨年のオトカ前旗の植樹事業は3月に現地の植樹作業に着手しました。中国では外国NPO法人の事業実施には、2017年から施行された「NPO管理法」に基づく公安局の承認が必要となります。ところが日中友好会館が事業遂行に必須条件とした、中国地元政府公安局の承認が年末まで取れず、現地事業を進めることができなくなりました。承認が下りなかった訳は、内蒙古自治区での他団体が起こしたトラブルの影響とのことでした。



No.3地区の砂に埋まる前の杭

昨年のオトカ前旗の天候は夏季に殆ど雨が降らず、また例年になく強風の日が多く、写真にもあるようにNo.3, No.8の植樹地区を明示する杭が砂嵐で砂に埋もれてしまうほどでした。植樹後の最も水が必要となるこの時期の不順な天候のため苗木の生育に大きな影響を与え、活着率も悪く大量の補植が必要となっている状況です。しかし公安局の承認が遅れたため、一年の内でも最も降雨が多く適切な時期である10月にかけての補植が行えず、今年3月に延期せざるを得ませんでした。このため昨春植えた苗木が、支援事業の基準である活着率90%をクリア出来るか心配しているところです。

一方国内活動の住吉台植樹地においては、隣接地で国交省による砂防



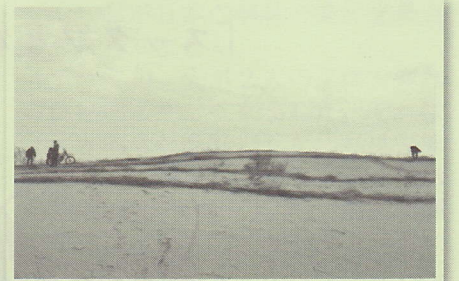
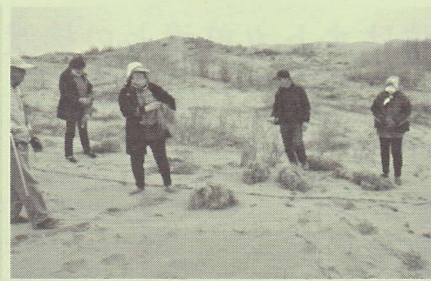
No.3地区の砂に埋もれてしまった杭

ダムの建設工事が行われておりその影響も心配なところです。国交省からは影響は最小限に抑えらるゝております。

本年の活動もコロナ感染症の収束が見通せない中では、制約されたものとならざるを得ないと考えております。夏の40度に迫る気温・頻発する集中豪雨と洪水・年明けからの大雪など、近年の異常気象は身近に実感するようになってきました。このような状況の中では環境保護活動は増々重要になって来ると思われます。当会も微力ですが、これまでの活動を継続していこうと考えております。本年も会員の皆様のご支援をお願いいたします。

事務局長 矢野正行

「植樹地の砂丘」



事務局からの
お知らせ

事務所移転のお知らせ

令和4年は新年早々、華僑会館建て替えのため、事務所の移転を余儀なくされています。1月は荷物の整理や荷造りに追われていました。また2月入ってからはパソコン、電話等を仮事務所への移設を行い、会員の皆さんには連絡が取れないなど大変迷惑をお掛けしているところです。仮事務所は約2年間の予定で「中華会館」南隣の「東昌ビル」7Fに設けています。華僑会館が新築されれば現在のところに帰ってくる予定です。

本年度の諸活動

通常総会・住吉台植樹・六甲山クリーンアップの諸活動は、感染症の状況により開催の判断をし、皆様には別途ご連絡する予定です。

会費・緑化支援金等協力者のお名前 (2021.7.1~2021.12.31 現在)

三角修一 江 賦春 花田印刷

私と環境(35) 庭木の健康診断 ②6

庭木の手入れ 《つる植物》

樹木環境研究会「ミルフィーユの会」
天野孝之

前回に続き「つる植物」の話です。

8) キツタ (ウコギ科 *Hedera rhombacea*)

：境栽木 - 高木

枝がつるになり、付着根を出して樹木に絡まりつきます。枝は太くなるので、地際部で切り取り、地上部は引っ張り取ります。つるや葉柄で巻き付いているつる植物に比べれば、比較的容易に取り外すことができます。地下部は太い根茎に木針状に加工された除草剤（商品名：ケイピンエース）の施用が簡単で効果的です。

9) クズ (マメ科 *Pueraria lobata*)

：境栽木 - 高木

普通にみられる植物で、秋の七草のひとつです。高木にもよじ登り、覆いかぶさります。冬もつるが地上に残り、見苦しい風景になります。葉は3小葉からなりますが、小葉一枚一枚が大きく樹冠被覆による被害も大きく、また重量も重くなり、被覆された樹木では、樹形が奇形化します。根には良質なでんぷんが含まれ、葛粉として利用されます。



写真：街路樹の桜に覆いかぶさるクズ

里山、山間部ではイノシシが根系を餌とするため大きな穴を掘り、根域土壌の乾燥につながります。駆除は、根茎に木針状に加工された除草剤（商品名：ケイピンエース）の施用が簡単で効果的です。

10) サネカズラ (マツブサ科

Kadsura japonica)：境栽木 - 低木

太いつるを出して、低木に緩く巻き付きかぶさりますが、高くへは登りません。つるを引っ張れば比較的簡単に除去できますが、根系の駆除が必要です。ビナンカズラ(美男蔓)とも呼ばれており、観賞植物して茶室横などによく植栽されています。



写真：赤い集合果

11) サルトリイバラ (サルトリイバラ科 *Smilax china*)：境栽木 - 中木

低木の樹木に棘と巻きひげで絡まり登っていきませんが、高いところまでは登っていきません。巻きひげは太くしっかりしています。鋭い棘があるため、引っ張っての除去は危険です。地際部で切れやすく、地下には根塊が残るため、完全駆除は困難です。

関西地方で葉は柏餅を包むカシワの葉の代用とします。これは関西地方ではカシワの木が少なく、カシワの葉の入手が困難なためです。



写真：サルトリイバラの托葉が変化した巻きひげ巻きひげだけでなく棘でも絡まり登っていく

12) シオデ (ユリ科 *Smilax riparia* var. *ussuriensis*)：境栽木 - 低木

雌雄異株で、雌株には直径1cm程の液果ができ球形で黒く熟します。葉柄基部に托葉の変形した巻きひげがあり、これで樹木に絡まりつきます。若芽はアスパラガスとよく似た味で、山菜として重宝されます。シオデとよく似たタチシオデがありますが、タチシオデの葉は薄くて光沢がなく、裏面は白っぽく感じます。



写真：ヒラドツツジに絡まりつくシオデ

絵本からのメッセージ 33

「いちばんしあわせなおくりもの」

畑中弘子 (児童文学者)

暖かい春の日差しが戻ってくる季節です。道端の草花も新しい芽吹きをはじめました。今までの厳しい寒さも、そしてコロナ禍状況もだんだん良くなっていくと信じて、心なごむ絵本を開いてみたいと思います。

「いちばんしあわせなおくりもの」を、大好きなくまくんのために、こりすが探していきます。こりすはいろいろ考えるのです。風をきって走れる自転車はどうか？ 暖かいセーターを編んであげようかな？ そして野原に咲く美しい花々を見て尋ねました。「ねえ、このはな ゼーンぶあつめて、はなたばを おくりものにしたら、くまくんはうれしい？」。ところが、くまくんは、このまま花の中にいるだけでいいと言うのです。こりすは困ってしまって、しょんぼり……。やがて、くまくんの欲しいものがわかりました！「きみが そばにいてくれたらそれが いちばん しあわせ」。こりすもとても幸せに思いました。

背景の絵も優しく、思わず微笑んでしまう嬉しい絵本です。



作：絵 宮野 聡子 (教育画劇)

中国
便り

杭州市での医療研修生活

楊 玉 麗
(中国 銀川市在住)

昨年の7月、私は中国緩和ケア看護学会の研修のため、杭州市の浙江病院で1ヶ月過ごしました。この研修体験では、多くの有意義で楽しい体験をすることが出来ました。

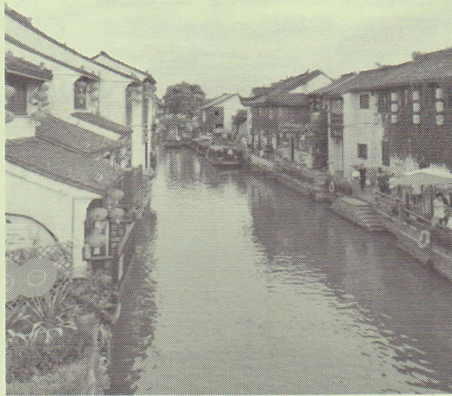
銀川から杭州までの飛行時間は3時間足らずですが、雨天のため到着が遅れ杭州には明け方の3時に着きました。飛行場からホテルまでは1時間たらずで午前4時に着きました。仮眠の後、7時に起床して病院に向いましたが、ホテルを出たとたん熱さが襲ってきました。銀川の爽やかな涼しさとは大違いです。幸いにもホテルと病院の間は徒歩で10分ほどの距離でした。

日中の研修後、夜の街へ出てみました。そこでは老人達が路上にシートを広げ、自家菜園で採れた新鮮なトウモロコシ・茄子・ヘチマ等を売っていました。私はトウモロコシを買って帰り夕飯に食べましたが、銀川産のものに比べ大きく・香り・甘さ・柔らかさがあり大変おいしいものでした。

杭州のこの時期は大変気温が高く室内では24時間エアコンが必要です。私はエアコンを就けたまま寝る習慣がなかったので、寝る前にはスイッチを切っていました。しかし夜中に暑さで目が覚めるため、その度にスイッチを入れ室内を涼しくし、また切ることを繰り返していました。その後、私もスイッチを入れたまま眠るようになりましたが、当初の風邪を引くのではとの心配は無用でした。西北部の銀川の我が家ではエアコンは必要ありません。朝晩の気温差が大きく日中の暑さも一時だけで、しかも空気は乾燥しているので全身に汗をかくといった不快感はありません。

杭州市には名所旧跡が沢山あり、中でもうまく説明できませんが西湖は特に好きです。私は遊覧船に朝夕併せて5回乗りましたが、そのたびに景色の美しさに感動しました。西湖は杭州市の著名な観光スポットです。俗に天には極楽があり、地には杭州があるといいますが、それは嘘ではありません。

西湖地区は面積60平方キロの三方を山に囲まれ、湖畔には緑があり、橋の袂の柳も美しい景色です。西湖の長い歴史は神話や恋の伝説に彩られています。伝説「白蛇伝」では白蛇の化身の乙女と若者許仙の悲恋は、



杭州の水郷

法力を持つ「法海和尚(※1)」が乙女を仏塔の下に封じ込めることで終末を迎える話です。この悲話は広く人口に膾炙されています。壊れた橋は二人の逢瀬だった場所で、渡る際には「千年を待つ」という歌が思い出されます。「断橋残雪」といわれる白い石橋も目が奪われる美しさです。

初めて研修生仲間5人と西湖へ行った際は、朝5時に自転車で出発し1時間足らずで到着し、湖畔では写真を撮ったりして過ごしましたが、9時頃になると暑くなり湖畔を巡るのは止め、有名な「靈隱寺(※2)」を見学することにしました。ここは「斎公和尚(※3)」が修行したお寺で、飛来峰にある石仏群には感激しました。石仏群は好く残っており、案内の老人によると文化大革命の際には、石仏群を守るため一体ごと前に毛沢東の胸像を置いたそうです。

杭州には美味しいものが多く、レンコン餅・揚げパン・多彩な点心・魚・鶏・鴨の煮込み等どれも舌を満足させてくれました。当地の食べ物はやや甘めですが甘すぎることとは無く、人の心を捉え幸福感に包んでくれます。私は特に味にうるさいということはありませんが、杭州の食べ物には満足しました。西湖の緑茶(龍井茶)は著名で、美味しく香りは爽やかです。

杭州市と銀川市の地形の違いは、至るところに美しい小さな川があることです。川辺には緑の木々が茂り、花が咲き、小船が浮かんでいます。江南地方の水郷風景は西北地方出身の私には信じられない美しい景色です。2022年杭州市ではアジア競技大会が開催されます。その頃には町は更に美しくなっているでしょう。世

界中の人達が杭州市を訪れられるように、早くコロナが収束して欲しいものです。そうなれば日本の皆様にも来ていただけるでしょう。

杭州市での生活は大変便利です。バス・地下鉄・健康医療、何でもスマホで利用できます。私には上海の生活よりも便利に思われます。杭州市はインフラサービスのIT化を先進的に取り入れている都市です。これは「アリババ」の創始者「馬雲」の故郷に匹敵します。

浙江病院は2018年に三墩院区に新たに建設されました。院内業務はIT化された最新の病院です。投薬・搬送・電子カルテ・診察等々の電子化です。これは私が6年前、日本の病院で経験したよりも先進的です。杭州市は中国では富裕で、先進的な都市です。そのため中国では先進的な考えの緩和ケアを、この病院の方針として重視しています。私はこの付属の中・西医学院で緩和ケアの研修を受けました。ここの中国・西洋医学を合わせた治療方法は、西湖モデルとして大変有名です。それはWHOのモデル方式ともなっています。これは杭州市政府・三甲病院・杭州市の地域医療機関の三者により開発された方式です。今は要介護老人・終末ケア病棟で実施されています。この病棟の水準は日本の病棟に匹敵します。病床の老人は衛生的な病室で快適に過ごせ、病室には異臭もありません。スタッフ達も献身的で、家族の手を煩わすこともありません。私が日本の病院で見た光景と変わりありません。

7月中旬、夫が2人の子供を連れて杭州市にやって来ました。それはとても幸せな経験でした。私は家族を案内して美味しい食事をし、市内の鳥鎮・蘇州公園を見学し、蘇州刺繍・中国服・アクセサリなどの買い物をして過ごしました。

旅は素晴らしいものです。様々な美しい景色を見、見聞を広げることが心をリラックスさせてくれます。そして志を同じくする多くの友人ができ親交を結ぶことが出来ました。今回の杭州市での体験は、私にとって実り多いものになりました。

- ※1 唐代の高僧
- ※2 10~14世紀の禪宗寺院
- ※3 14世紀の禪宗僧